

A Kyocera and Kobe Steel joint company

 KYOCERA /  KOBELCO

JMM JAPAN
MEDICAL
MATERIALS

インプラント(人工歯根)
治療のご案内



インプラント治療で
日常の楽しさを
取り戻してみませんか。

インプラント治療は、歯がなくなったところの歯根にあたる部分に人工の歯根（インプラント）を埋め込み、その上に人工の歯をかぶせる治療法です。

あごの骨にしっかりと固定されるインプラント治療なら、まるで自分の歯のように食事をすることができます。また、見た目も自分の歯のように自然に仕上げることができるので、人前でも口元を気にせず、食事や会話を楽しむことができます。インプラント治療で日常の楽しさを取り戻してみませんか。

インプラント治療の流れ

1 調査、術前計画



まず、レントゲンなどによる十分な診断を行い、治療の計画についての説明を受けます。

2 インプラント植立の手術



歯が抜けた所へインプラントを埋入した後、あごの骨にしっかりと固定されるまで、3～6ヶ月待ちます。

3 人工の歯の取り付け



インプラントによるしっかりした土台ができたなら、人工の歯を上にかぶせます。

4 完了



インプラント治療後は、アフターケアとして正しいブラッシングを行うとともに、半年に1度は定期検診を受けてください。

インプラントは、
こういう方にお勧めします。

従来の治療法とインプラント治療との比較

従来の治療法

インプラント治療

歯が1本抜けた場合



ブリッジ

ブリッジの支台とするために、両隣りの歯を削らなければなりません。



歯の抜けたところにインプラントを埋め込み、人工の歯を被せるので両隣りの歯を削ることがありません。

奥歯が数本抜けた場合



部分入れ歯

入れ歯を固定する金具などに異物感を感じたり、支えている歯に負担がかかることがあります。



入れ歯を固定する金具がないので異物感がなく、また他の歯に負担をかけません。

歯が全部抜けた場合



総入れ歯

入れ歯が口の中で動いてしまい、「噛みづらい」や「話しづらい」などの不便さを感じることがあります。



インプラントにより、入れ歯をしっかり固定できるので、入れ歯を気にせず食事や会話を楽しむことができます。

(マグネットを使用した治療例)

健康な歯を削るのがいやな人

入れ歯が合わなくて悩んでいる人

入れ歯ではなく、自然な歯ならびをとり戻したい人

インプラント治療に関するQ&A

Q インプラントの素材は何ですか？

A インプラントは、体の中で非常に安定した素材であるチタンでできており、骨とのなじみをさらによくするために表面処理が施されています。

チタンは人工関節など、さまざまな分野で使用され、生体親和性の高い材料として世界で認められています。

Q インプラント治療を誰でも受けることができますか？

A 年齢の上限はありませんが、骨の成長がほぼ終了する16歳ぐらいから治療を受けることができます。ただし、心臓病や糖尿病などの持病がある人や、妊娠中の人などは受けられない場合があります。また、あごの骨の状態によっても受けられない場合があります。いずれの場合も事前に歯科医師とよくご相談ください。

Q インプラント手術に伴う痛みは？

A 手術は局所麻酔下で行いますので、ほとんど痛みはありません。

インプラントの埋入手術の処置時間は約30分～120分です。

Q 治療費はどの程度かかりますか？

A インプラント治療は、自由診療扱い(自費)となっていますので、保険が適用されません。実際の治療費はインプラントの種類や本数、被せる人工の歯の材質などによって異なりますので、詳しくは歯科医師とよくご相談ください。

Q インプラントはどのくらいもちますか？ また、手入れは？

A インプラント自体は生体となじみの良いチタンでできています。長持ちをさせるのに重要なことは自分の歯と同じような手入れをすることです。ブラッシングはもちろん、歯肉の健康状態や正しい噛み合わせのチェックをするため、半年に1度は定期検診を受けてください。

